

銀漢亭日録



伊藤伊那男

11月16日(木)▼竹内洋平さん夫妻と俳句仲間六人、吟行のあと。真砂年さん。「銀漢句会」あと十三人。本日ボジョレーヌーボー解禁日。

17日(金)▼発行所「鶯句会」あと七人。ORIX時代の部下三人。新入社員だった若者が還暦になるという。対馬康子さん。

18日(土)▼「纏句会」。私の都合で開催日を変更したこともあり、九人と淋しい。しかも私は句会のと退席にて店に申し訳なし。十七時十五分、荒木町、ふぐの「しほ瀬」にて三笠書房の押鐘会長の接待を受ける。小野寺清人、森崎森平さんと。この店、二年振りか。白子焼、唐揚げ、鉄皿、煮ごり、鍋と……。鱈酒の焼き具合が何とも良く、次酒三回も。あと行き当たりばったりで昭和の名残のようなスナックでウイスキー、カラオケと楽しむ。帰路、新宿でちよつと飲んでしまう。

19日(日)▼終日家。「銀漢」一月号の文章など。夜、家族揃ったので牡蠣、鰻の鍋。某氏に戴いた甲州の煮貝など。

20日(月)▼店、国会議員のT先生。ボジョレーヌーボー二本、皆に振舞ってくれる。「演劇人句会」の十二人。三輪初子さん食料醸界新聞社の井上社長と。新同人の竹内洋平さん句集『f 字孔』届く。

21日(火)▼あ・ん・ど・うクリニック。降圧剤、インフルエンザ予防接種。店「聞句会」七人。屋内松山さんと「天穹」の方々五人。

22日(水)▼超閑散。「三水会(高校同期の会)」三人。二十時半、閉めて井蛙、展枝さんと「ふくの鳥」。

23日(木)▼勤労感謝の日。十三時、杉並会館マツヤサロンにて中島八起さんの句集「青葉木菟」出版記念会。昔の山仲間も五人集まり懐かしい。あと荻窪駅前にて二次会。別れて久々の荻窪にてラーメンの「春木屋」「丸福」と廻る。私の若い頃一世を風靡した店。今

仲間と。

30日(木)▼武田果花句集「手毬」上梓。發送。店、太田うさぎ、天野小石、会わせて百十歳というGOGOパーティー。二人の衣装と化粧が凄い。お祝いに約三十人集まる。

12月1日(金)▼十一月の店の月次表作成。一月号の原稿追い込み。桃子骨折にて料理手伝う。店「大倉句会」あと十七人。ネット

2日(土)▼店にて十三時半より、「銀漢亭O'h・つごもり句会」。超結社で三十一人集合。料理、酒など皆さんからの差し入れ多数。五句持ち寄り。あと三句、二句と三回の句会。十九時半位か、お開き。幹事の朽木直、戸矢一斗さんを囲んで七人ほどで「ふくの鳥」。帰路、新宿でちよつと……。

3日(日)▼十三時より、中野サンブラザにて「春耕同人句会」五十三人。あと、春耕賞選考委員会。終わって「炙谷」にて忘年会。あと、「赤ひょうたん」に十人程。二次会。帰宅すると中三、中一の孫が二日後試験として歴史、政治などについての質問あり。飲みながら二時間程講義。嬉しい時間である。

4日(月)▼宮澤は指宿。羽生善治さんの竜王戦撮影へ。「銀漢」新年号の原稿執筆終了。店、超閑散。

5日(火)▼今日も超閑散。国会議員のT先生見えてゆっくり話。二十一時閉める。

6日(水)▼「春耕賞」選後評。伊那北高校同窓誌に四句送る。「宙句会」あと十五人ほど忘年会。「きさらぎ句会」あと八人忘年会。

7日(木)▼ヘアメイクの中川さん来てくれて散髪。店、秋元孝之氏が復本一郎先生の「鬼」の大田勝行氏と。私の本を読んでくれてる。「十六夜句会」あと十五人など。

8日(金)▼環順子さん職場仲間の女子会八名。

9日(土)▼風邪気味。十時、運営委員会。十三時より「銀漢本部句会」六十人。あと忘年会。三十数名。あと杉阪氏と「大金星」にて久々、積もる話。

は待たずに入れる。嗜好の変化であらうか。味は同じなのだが……。それにしても宴会、二次会のあとラーメン二杯は……。減多に無い機会だからと言っても何とも欲深いことである。

24日(金)▼「白熱句会」。小山徳夫、藤田直子、佐怒賀正美、井上弘美、水内慶太、久々、小暮陶句郎さん。米国から青柳飛さん米国俳句協会会長)来て、「天為」の方々も。若手の黒岩徳将、仙台の浅川君、魔王さんなど。「金星句会」あと七人。環順子さん。

25日(土)▼東京発九時八分「こまち」にて東北へ。途中から車窓は雪。大曲から奥羽線にて十文字駅。増田町の日の丸醸造(「まんさくの花」訪問。池田のりをさんの案内で超結社の十数名。内蔵のある町を散策。佐藤又七家と山吉肥料店を見学す。かなりの財産と文化の高さがあった町であることが解る。雪降りしきる。「上畑温泉さわらび」に投宿。夕食後、五句出し句会。ずっと「まんさくの花」を飲み続ける。あと部屋にて袋廻し。十数句を作り、へとへと。

26日(日)▼温泉。八時発。日の丸醸造へ。佐藤社長の案内で酒蔵の作業を拝見する。内蔵の座敷をお借りして句会。部屋中に漆をふんだんに使った贅沢な蔵。三句出し句会。買い物などをして十三時、稲庭うどんの「佐藤養助商店」。皆、飲むわ。十文字駅発の電車に読み違いあり、タクシード大曲へ。新幹線間に合う。車中ずっと尻取り句会をしながら飲むわ飲むわ、飲むわ！ 帰宅すると桃子、足首二カ所骨折と。

27日(月)▼桃子夜中に接骨の治療を受ける。子供達のお弁当を作って送り出す。店、特に予約など無かったが、昨日の秋田吟行メンバーなど集まる。真砂年さん、新海あぐりさん。二十二時閉めて帰宅。桃子、当面一階暮らししか。

28日(火)▼「萩句会」選句へ。超閑散。数人の客去ったあと二十時半閉める。久々の早退けにて新宿でちよつと飲む。二十年振り位か。「新高揚」のつけ麺も。

29日(水)▼店「雛句会」十三人。青柳飛さん。展枝さん三越の仕事

10日(日)▼十時前、家を出て野菜類など買って店へ納める。アメ横にて数の子、するめを買い、伊那の従兄弟に送る。十二時、浅草、「三浦屋」。久々、盤水先生のご長男、皆川丈人、甥の文弘さんをお招きして忘年会。当方、禪次、井蛙。あと浅草ビュートで一杯。あと文弘さんの知る「水口食堂」で「カツ丼のアタマ」などで酒。私の知るラーメンの「あづま」へ行くと火災で閉店。違う店でラーメン……。

11日(月)▼店「聞句会」九人。奈良の畑中君の友人二人。梅田津、峯尾文世さんの「銀化」グループ四人など。

12日(火)▼「火の会」十人。先般訪問した秋田県増田町の日の丸醸造に礼状と「銀漢亭こぼれ噺」を送ったが、佐藤譲治社長、仕込み時期なのに読んで下さり、便りと新酒「槽しずく」を送って下さる。社長は慶応同期。三井信託に二十六年勤めたと。

13日(水)▼「梶の葉句会」選句。あと店へ十人。忘年会。十八時過ぎ、「山廬」を守る飯田秀實さんを志村昌さんがお連れする。清人さんがもてなしの生牡蠣など。山廬でもてなしを受けた松山、真砂年、大和、花果さん他十人程が集まる。

14日(木)▼「極句会」の忘年闇鍋句会。十数名。各自色々を持ち寄り。特に秋葉男さんの鮪が大好評。寿司も握ってくれる。

15日(金)▼「鶯句会」あと七人。そのあと「金星句会」終って五人。たまたまた来た客が三菱商事時代の山下美佐さんの部下。武田禪次さんの部下でもあり奇遇。大坂から出張で来てふと寄ったと。

16日(土)▼午前中、医者。一週間はど咳込むこと多く、夜中に苦しめて起きることも。相談すると、二週間前に増やした降圧剤が人によって空咳を伴うことがあり、すぐに薬を変えよう。一週間、風邪薬を飲んでいたが何だったのか。十三時、横浜桜木町駅、三十人ほど集合「横浜忘年吟行句会」。長崎から坂口晴子さんも。伊勢山皇大神宮、成田山横浜別院、野毛山動物園を吟行。中華街「梅蘭酒家」にて三句出し句会と忘年会。あと有志で馬さんの店。馬さん、今年のお盆の頃、九十五歳で逝去と。